

Press release

2013年7月1日
PRESS-13-12

糖尿病患者への心理社会的ケアと周囲のサポートの重要性 世界的調査研究 DAWN2™(ドーン ツー)の結果から

糖尿病ケアのリーディングカンパニーであるノボ ノルディスク ファーマ株式会社(社長:クラウス アイラセン、本社:東京都千代田区)は、心理社会的な側面に焦点をあてた世界的な調査研究 DAWN2™ 調査の結果から、糖尿病ケア、教育、心理的サポート、コミュニティのサポートに関して、改善が必要な側面が浮き彫りになったことを発表しました。DAWN2™はこの種の調査研究では最大の規模で、日本を含む17カ国、15,000人以上の糖尿病患者さんやその家族、糖尿病ケアに携わる医療従事者を対象に調査されました。

グローバルおよび日本の調査結果の概要は以下のとおりです。

糖尿病患者さん

- 糖尿病の教育プログラムや活動への参加が多くの国で課題であるのに対し(全体の平均:58.6%)、日本では参加の割合が高かった(75.5%)。また、参加した教育プログラムは役に立ったと回答している(全体の平均:79%、日本:85.9%)。
- 友人または身近な人(全体の平均:59.9%、日本:18.8%)、職場または学校の人(全体の平均:24.8%、日本:7.3%)、他の地域社会(全体の平均:28.9%、日本:5.1%)から支援が得られている割合は低かった。
- 糖尿病管理を支援する教育、情報、サポートツールやサービスなどを利用していない割合が日本は高かった(全体の平均:29.0%、日本:44.3%)。
- 多くの患者さんが慢性疾患に対するパーソン センタード ケア(person-centered care:心理社会的側面も配慮した「その人中心のケア」)を受けていないと回答した。糖尿病がどのように生活に影響を与えているかについて医療チームから尋ねられたことがあると回答した割合が日本は低かった(全体の平均:16.9%、日本:11.2%)。
- 新しい試みとして、糖尿病によるプラスの影響について質問があり、糖尿病であることで良い影響もあると回答している(全体の平均27.2%、日本:15.9%)。

ご家族

- 家族は、糖尿病の患者さんと生活することで良い影響もあると回答している(全体の平均34.5%、日本:21.8%)。
- 家族は糖尿病である家族をサポートすることが、中程度以上の負担であると感じている(全体の平均33.7%、日本:56.9%)。
- 家族は、家族の糖尿病ケアに今より多く関わっていきたいと考えており(全体の平均:38.7%、日本:46.7%)、糖尿病に向き合う気持ちを助けていきたいと考えている(全体の平均:45.6%、日本:45.8%)。

医療従事者

- 過去12カ月に定期的に来院した患者さんに対して、慢性疾患に対するパーソン センタード ケアを提供したと半数前後の医療従事者が感じていた(全体の平均:61.9%、日本:44.9%)。たとえば、傾聴、励まし、自己管理を勧めるなどの実践的なサポートあるいはコミュニケーションのサポートを提供したと回答した。半数以上の医療従事者が、糖尿病が生活にどんな影響を与えているか尋ねたと回答しているが(全体の平均:52.0%、日本:37.3%)、日本はいずれも平均より低かった。

お問い合わせ先

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
広報部

100-0005
東京都千代田区丸の内
2-1-1
明治安田生命ビル

Tel: 03-6266-1700
Fax: 03-6266-1801

Internet:
www.novonordisk.co.jp

本調査の日本の主任研究者であり天理よろづ相談所病院の石井 均副院長は、「DAWN2™の結果から、日本では糖尿病の状態を測るHbA1c、血圧、体重といった客観的な指標の確認は世界でもトップレベルで行われていますが、糖尿病をもつ方の気持ちや自己管理など、心理社会的状態についての確認はあまりなされていないという状況が明らかとなりました。良好な血糖コントロールを達成するためには、糖尿病をもつ方が長期にわたり糖尿病管理に主体的に取り組むことが重要です。医療従事者やご家族は、糖尿病をもつ方が自己管理に対するモチベーションを維持するうえで重要な存在であり、そのための効果的な支援やコミュニケーションの方法が検討される必要があります」と述べています。

DAWN2™調査から得られた結果は、6月23日に3つの論文が発表されるとともに、第73回米国糖尿病協会の年次学術集会でも発表されました。

DAWN2™ 調査について

(Diabetes Attitudes, Wishes and Needs/糖尿病に関する姿勢、願い、ニーズ)

DAWN2™ 調査はノボ ノルディスクが国際糖尿病連合 (IDF)、国際患者団体連合 (the International Alliance of Patient Organizations: IAPO)、ステノ糖尿病センター、国や地域および世界的なパートナーと幅広い連携を通じて行ったものです。

DAWN2™ 調査の結果は、糖尿病患者さんやそのご家族を中心に考え、糖尿病ケア、教育、コミュニティーのサポートを改善する機会を浮き彫りにしています。DAWN2™ 調査は糖尿病患者さんの生活を改善するためのアクションプランを作るために、患者組織、その他の主要なステークホルダー間の会話を促進するために、使用されます。詳細な情報はwww.dawnstudy.comに掲載されています。

References

1. Antonio Nicolucci et al. Diabetes Attitudes, Wishes and Needs second study (DAWN2™): Cross-national benchmarking of diabetes-related psychosocial outcomes for people with diabetes. Diabet Med 30(7) : 767-777, 2013
2. Katharina Kovacs Burns et al. Diabetes Attitudes, Wishes and Needs second study (DAWN2™) Cross-national benchmarking indicators for family members living with people with diabetes. Diabet Med 30(7) : 778-788, 2013.
3. Richard Holt et al. on behalf of the DAWN2™ Study Group. Diabetes Attitudes, Wishes and Needs: second study (DAWN2™). Cross-national comparisons on barriers and resources for optimal care – healthcare professional perspective. Diabet Med 30(7) : 789-798, 2013.

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社は、デンマークに本社を置く糖尿病ケアの世界的リーディングカンパニーであるノボ ノルディスク社の日本法人です。ノボ ノルディスク社はインスリンの発見から間もない 1923 年にインスリンの製造販売を開始し、今年 90 周年を迎えます。日本法人は 1980 年に設立され、現在、糖尿病に加え成長ホルモンおよび血友病の領域に特化して事業を展開し、それぞれの製品領域におけるリーディングカンパニーです。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社に関する詳細な情報は、www.novonordisk.co.jp に掲載されております。また、ノボ ノルディスク社につきましては、www.novonordisk.com (英文)にてご覧いただけます。

本資料は、重工業研究会、本町記者会へ配布させていただきます。

お問い合わせ先

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
広報部

100-0005
東京都千代田区丸の内
2-1-1
明治安田生命ビル

Tel: 03-6266-1700
Fax: 03-6266-1801

Internet:
www.novonordisk.co.jp